

外来通院中のみなさま・ご家族さま

秩父中央病院

院長 内田里華

日ごろより当院の診療につきまして、ご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

このたび平成 29 年 4 月より、私たち秩父中央病院は新たな方針「入院を縮小し、外来・地域ケアを強化する」にもとづき、運営体制を変更することとなりましたので、そのご説明をさせていただきます。

具体的には、新入院の大部分に対応してきた現在の第 1 病棟を休床とし、療養病棟(現・第 5 病棟)と認知症病棟(現・第 2 病棟)は継続します。一方、地域にグループホームを増やし、精神科訪問支援チームを拡充します。また外来初診の予約待機期間の短縮や地域の医療機関・施設との、より円滑な連携等に努めてまいります。

今回の方針変更は、医師不足がひとつの大きな要因ですが、同時に、「入院中心から外来・地域ケア中心へ」は精神科医療の望ましい姿であり、わが国でも一部の先進的な地域・医療機関にて、その取りくみが広まりつつあります。

しかし当面、精神症状が重く、急ぎの入院適応の患者さまは他の病院への入院が増え、ご不便をおかけしてしまうことと存じます。精神症状を悪化させないためには、ご本人、ご家族、学校、職場、行政、地域全体が精神疾患・精神障害を正しく理解し、孤立を防ぎ、無理をせず、早期対応することも大変重要です。なるべく入院せずに住みなれた地域にて精神科医療・ケアが継続でき、その人らしい生活や人生を送ることが可能な秩父地域となりますよう、私たちがなりにめざしてゆきたいと考えております。

みなさまにおかれましては、ご理解とご協力をいただけますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。